

～県外に流出する県産シラスの県内処理体制の強化～ 株式会社木村海産（香川県さぬき市）

目詰まりの現状

香川県では、シラスやイカナゴの一次加工（ボイル）を行う工場が衰退し、漁獲されたシラスの7割、イカナゴの半数が県外の大規模加工場に搬送・加工されている。輸送に要する時間経過で魚の鮮度が劣化し、また運賃コストが製品価格に転嫁されている。

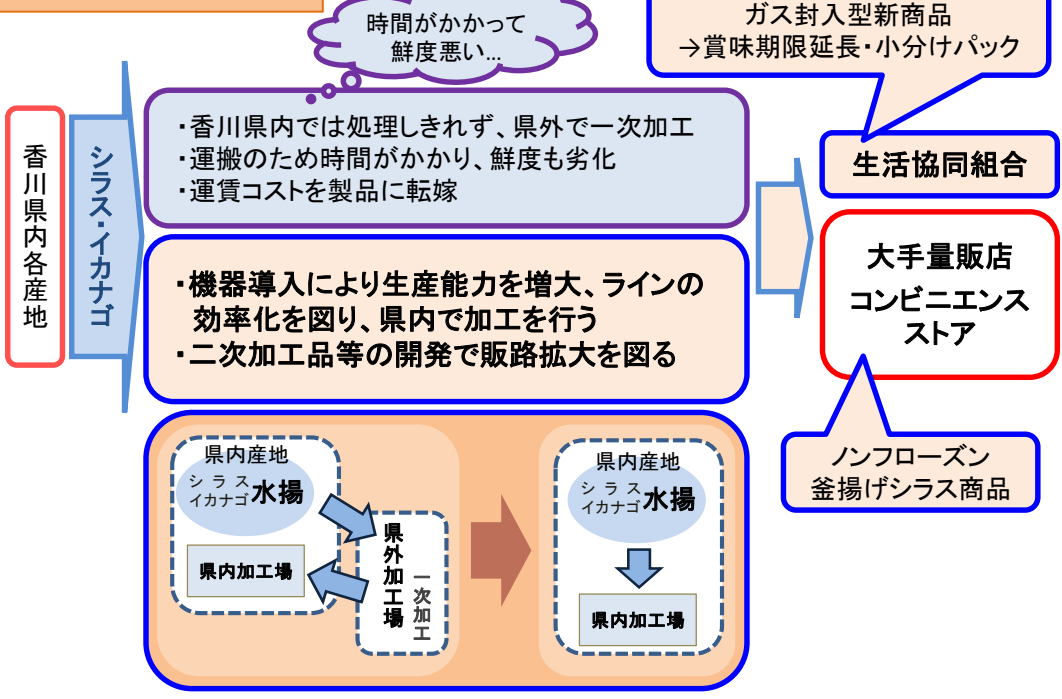
プロジェクトの概要

- 乾燥機、充填機等の導入により加工能力を増強し、県外で行っていたシラス等の一次加工を自社加工場（香川県内）で行う。
- 高温高圧洗浄機、コンテナ、秤等を導入し、製造工程の効率化を図る。
- シラス等の一次加工品のほか、低年齢層向け二次加工品の開発、販売を行う。

取組による成果

- 導入機器の活用により、製造の効率化及び製造量増大。
- 地元産原料を自社で加工する短時間処理で、高品質なシラス製品の製造。
- ガス封入型新商品の開発により、生協等へ販路拡大。

プロジェクトフロー



充填機、高圧洗浄機等導入機器



香川県産釜揚げしらす商品

